

平成29年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【 札幌市 】

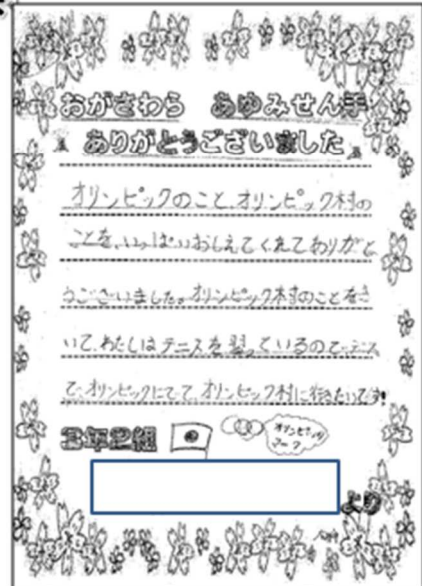
1 実践テーマ	【I、III、V】
2 実施対象者	札幌市立平岸小学校 第3学年 105名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 (総合的な学習の時間) ② 行事名 () ③ その他 () (2) 地域における活動 ① イベント名 () ② その他 ()
4 目標 (ねらい)	1972年に札幌で開催された冬季オリンピック大会の開催を契機に発展した札幌市の変遷について理解を深める。 札幌の街を大きく変えた冬季オリンピックについて理解を深め、自分が住んでいる札幌に対する誇りや「ふるさと札幌」を愛する心の育成を図る。
5 取組内容	札幌オリンピックミュージアムを訪問し、オリンピック講師の小笠原歩さんの講話、大倉山ジャンプ台の展望台見学、オリンピックミュージアムの見学を通して、オリンピックや競技施設に興味をもつ。 ○指導計画 〔総合的な学習〕15時間 ・「わくわくオリンピック探検隊」と題し、札幌でオリンピックがあったことやその施設を調べる。 ・オリンピックミュージアムの訪問をきっかけにカーリングや他の競技に興味をもつ。 ・フロアカーリング体験を通して、やったことのない競技に関心をもつ。 ・オリンピックの学習を生かして、思いをもって2020東京五輪のマスコット選びを行う。 ・調べたり、体験したりしたことを新聞やブックにまとめる。

○学習の様子

札幌オリンピックミュージアム訪問



フロアカーリング体験



6 主な成果

- 身近な施設が1972年の札幌オリンピックを契機に整備されたことを知り、オリンピックが開催されるということの意味を実感していた。
- 小笠原歩選手のお話を聞き、オリンピックに出ることの大変を知ったが、自分もオリンピックを目指したいという思いを抱く子どもいた。
- フロアカーリング体験を各クラスで行い、やったことがない競技を大変楽しく行うことができた。合わせて、本当のカーリングの距離が自分たちが経験した距離の3倍以上もあることを知り、オリンピックの凄さを実感していた。
- オリンピックの学習を進めるなかでピョンチャンオリンピックやパラリンピックへの興味を深め、毎日、日本選手の活躍を気にする様子が見られた。

7実践において工夫した点 (事業の特色)	取組の内容に記載した通り。
8主な課題等	<ul style="list-style-type: none"> • オリンピックミュージアムの訪問は内容が盛りだくさんで、ミュージアムの見学や体験コーナーを満喫することができなかった。 • フロアカーリング体験をするために、フロアカーリングセットを貸してくれる団体や学校を探すのが大変だった。今回はもみじ台町内会から3セット、真駒内養護学校から1セットを1週間、借りることができクラス単位で楽しみことができた。もっと近くで借りられることができると活用しやすい。 • 学習モデルがあると自校に合った学習の流れを計画しやすくなる。
9来年度以降の実施予定	経費や講師の確保等、持続可能な仕組みづくりを検討している。